

平成 24 年 10 月 30 日
環境部地域エネルギー対策担当

論 点 の 整 理

- 検討の視点 ①杉並区にふさわしい地域分散型エネルギー社会の構築を目指した検討
②環境政策だけでなく、防災対策やまちづくりの観点も含めた検討の実施
③住宅都市という特性を踏まえた検討

分野	主な論点	目標	早急に取組むべき課題	役割分担
エネルギー創出と省エネ・蓄電	①杉並区の地域特性に合わせた省エネ対策のきめ細かな推進 ②地域に賦存する再生可能エネルギーの利用促進 ③コージェネレーションや燃料電池の活用による化石エネルギーの高度利用の推進 ④災害時やピークシフト対策としての蓄電池の活用 ⑤節電による省エネの推進 ⑥杉並清掃工場のごみ焼却発電・廃熱利用	◎平成 33 年度のエネルギー消費量の平成 21 年度比 ●%削減 ◎区内エネルギー消費量に対する再生可能エネルギー・コージェネ・燃料電池による発電量 ●% ◎災害時やピークシフト対策の蓄電池としての電気自動車の活用 ◎区施設及び区民の節電目標の設定 ●%削減 ◎救援避難所や災害弱者施設等への再生可能エネルギー発電機器や自家発電設備、蓄電池の設置	◎太陽光発電機器設置助成の継続及び拡大の検討 ◎燃料電池の設置助成拡大の検討 ◎区施設更新時のコージェネ導入や再生可能エネルギー発電機器、自家発電設備、蓄電池の設置の検討 ◎庁有車における電気自動車活用の検討 ◎災害弱者施設等への蓄電池の設置助成検討 ※特に停電時に電気式医療器具を使用する医療機関等への支援	◎国、都、区による助成 ◎区、事業者、区民との協働 ◎区施設でのエネルギー創出と蓄電 ◎省エネ・ピークカットの区、区民、事業者の協働 ◎区と医療機関等との協働
スマートコミュニティづくりの推進	①エネルギーと ICT を組み合わせた「スマートハウス」や「スマートコミュニティ」づくりのモデル地域の指定などによる推進 ②建築物の低炭素化の推進と推進のための仕組みづくり ③多心形まちづくりとコンパクトシティ化 ④公共交通機関の利用促進 ⑤電力の自由化を視野に入れた区及び事業者、区民の新電力（PPS）の一層の活用	◎スマートコミュニティ化により、誰もが安心して暮らせるまちをつくる。 ◎モデル地域の指定によるスマートコミュニティづくり ◎建築物の低炭素化の推進 ◎コミュニティバス等の活用 ◎新電力の活用により区全体としての電力供給の安定化を図る。	◎建築物の低炭素化の推進の検討 ◎コミュニティバス路線の拡大の検討 ◎区立施設への新電力の導入促進検討	◎スマートシティづくり及び省エネ・ピークカットの区、区民、事業者等の協働 ◎国による建築物の低炭素化基準作成 ◎区、事業者、区民との協働
区民への情報提供と自主的な参加促進の仕組みづくり	①区民への適切な情報提供や啓発を推進し、自主的な参加促進を図る。 ②エネルギー施策への区民出資により、区内を中心にエネルギーを創出し、区民が経済的なメリットを受けられるような仕組みをつくり、地域内で区民の富とエネルギーの循環を図る。 ③省エネルギー・節電知識の普及と意識啓発	◎周知啓発・相談事業の拡充 ◎地域の金融機関、行政、区民が協働し、区民参加型のファンド等の創設を図る。	◎「新しい公共」支援モデル事業による区民のエネルギー消費量、太陽光発電機器使用状況の分析などの情報発信、省エネ・節電相談啓発事業の拡充の検討	◎区と NPO 等との協働 ◎区、事業者、金融機関、区民等との協働 ◎区と区民、NPO 等との協働